

合併に関する議案への質疑

本会議初日に提案された、合併に関係する四つの議案に対して、委員会付託を省略し、本会議で質疑が行われ、次の三人の議員が質問をしました。その要点のみ紹介します。質疑の後、直ちに本会議で採決の結果、賛成多数で可決されました。

市町村合併の理由に疑問

美見 ↓合併により、現在の市町村の市民サービス部門に格差があり、たとえば、

乳幼児医療費の無料化制度はサービス低下にならないか。保育料や幼稚園使用料はなぜ津山市や高い方にあわせるのか。

答弁 ↓乳幼児医療費無料化は加茂町を除いては低下にならない。保育料等は、県

下十市の状況も鑑み、津山市に準じることにした。

久永 ↓今回の合併は、中央政府と県からの押し付け合併であり、住民自治の立場から考えて、おかしいのではないか。地方分権の受け皿づくり論だが、大きな自治体でなくとも、行政事務はやれる。小さな自治体ほど合計特殊出生率が高い。高齢者の健康づくりなど、少子・高齢対策が行き届いている。

答弁 ↓高度なサービスの展開、行政需要に対処するために合併するものである。高齢者対策などは、経過措置を設けながら、五カ年で津山市の制度にあわせることを原則に考えている。

末永 ↓今回の合併問題は、戦後の民主的な制度づくりで生まれてきた、地方自治の精神を踏みにじるものであり、合併調印式を初めにして、その後、議会での議決事項があるというのは、逆立ち政治ではないか。

答弁 ↓調印式に法的な力はないが、国の方から合併に先立って「調印をする」ということを行うように要請されている。

六月議会の日程

- 七日（月） 開会・議案上程・採決
- 十四日（月） 議案採決
- 一般質問と議案質疑
- 委員会付託
- 十八日（金）・二十一日（月） 各常任委員会
- 二十二日（火）・二十三日（水） 各特別委員会
- 二十五日（金） 委員長報告・採決・閉会

他市からの視察訪問

- 四月二十二日（木） 大阪府交野市 十一名
- 五月十三日（木） 埼玉県八潮市 十名
- 十四日（金） 宮城県柴田町 十名
- 二十六日（水） 愛知県知多市 八名

市政に対する一般質問

六月議会では十四日から十七日までの四日間で行われ、二十三人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、似顔絵については議員がそれぞれ持ち寄りました。



合併後の予算編成の方針は

清風会 岡田 康弘

と一層の行革を推進。十五年度余剰金、財政調整基金で対応。

質問 ↓現在までの戸籍電算化の進捗状況と稼働時期はいつ頃か。戸籍電算化に伴う費用はどの位か。

答弁 ↓本年八月三十日に稼働予定で作業中。費用は約一億六千万円。

質問 ↓苦田ダムが完成し来年四月より受水量が四千八百tになるが、水道事業の経営状況は。合併後の収支・料金改定についての考えはどうか。

答弁 ↓昨年度一億円強の黒字。受水一億四千万円・合併四千万円アップ、経営合理化を検討。料金は来年度現行で対応。



質問 ↓平成十七年度以降の三位一体改革の方向性をどう把握し対処するのか。十七年度の予算編成方針と今年度補正予算の留保財源は。

答弁 ↓合併に伴う財政支援のプラス要因